

検査用手袋の 供給状況に関するお知らせ



2021年2月

2020年に発生した新型コロナウイルス感染拡大の影響で、個人防護具関連製品の需要が急増し、世界的な供給不足が続いています。なかでも、ニトリル製の検査用手袋は供給において不安定な状況が今後もしばらく継続する見通しです。

メドラインの対応方針

- 既にご採用いただいていたご施設の需要分に対しては、最優先で供給いたします。
- やむなく供給が難しくなった際は迅速に情報を提供し、ビニル製を代替としてご提案させていただきます。

安全な医療提供をまもるために

- 用途に応じたニトリル製とビニル製の安全な使い分けを広く呼びかけ、供給リスクを最小限に抑えます。

▣ 使い分けの推奨例については、裏面をご覧ください



医療従事者のみなさまへ

ニトリル製とビニル製の検査用手袋の使い分けにご協力いただけますよう、お願い申し上げます。

医療現場で用いる手袋の種類と用途※

種類	手術用手袋	検査・検診用手袋 (滅菌/未滅菌)	多用途手袋 (未滅菌)
使用目的	✓ 本来無菌の組織に接触するとき	✓ 粘膜や創部に接触するとき ✓ 湿性生体物質に触れるとき	✓ 湿性生体物質に触れるとき
用途	手術などの侵襲的手技	検査, 検診, 治療, 汚染された器材を扱う場合	器具の洗浄, 汚染物処理, 廃棄物処理
禁忌・禁止	再使用禁止	再使用禁止	粘膜・創部に使用しない
医療機器分類	管理医用機器 (クラスII)	一般医療機器 (クラスI)	-

検査用手袋の素材による特性と用途※

主材料	ニトリル	ポリ塩化ビニル
用途	ラテックスアレルギー対策, 検診, ケア, 薬品の取り扱い時など	ラテックスアレルギー対策, 感染性物質による 汚染リスクの少ない短時間の作業
バリア効果	✓ 穴あきや破れに対する抵抗性に優れている ✓ 化学薬品に対する防御効果が優れている	✓ 穴あきや破れに弱く, 尖ったもので容易に穴があく ✓ 化学薬品に弱い
装着感	伸縮性は高いが, ラテックスよりもフィット感に劣る	伸縮性は比較的低く, 手首周りの寸法がゆるい
アレルゲン	化学物質 (加硫促進剤など)	化学物質 (可塑剤など)
経済性	やや高価	比較的安価

※ 参考：職業感染制御研究会 安全器材と個人用防護具「手袋の選び方・使い方」

使い分けの具体的な推奨例はこちら

病院オリジナルの
院内推進ポスターが出来ます！

※テンプレートをダウンロードいただく必要があります
(ファイル形式：Microsoft Office PowerPoint)



または

メドライン・ジャパン

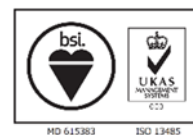
検索

メドライン・ジャパン合同会社

東京都文京区小石川1-4-1 住友不動産後楽園ビル15階

www.medline.co.jp

TEL : 03-5842-8800 FAX : 0120-37-5801



MJ-416